

# 平成30年度 愛知県立大学 教員研究発表会報告書

【日時】 平成30年8月6日（月） 9：30～12：00 ※パネル発表は7月30日（月）から8月6日（月）

【場所】 H004教室（口頭発表）と教室前ホワイエ（パネル発表）

【参加者数】 37名（教員26名、職員11名）

【プログラム】

《口頭発表》

	時 間	所 属	発表者氏名 (敬称略)	発表内容
1	9：35～9：50	外国語学部 国際関係学科	東 弘子 宮谷 敦美	日本ポップカルチャー受容の現状と日本語教育—インドネシアを事例として—
2	9：55～10：10	外国語学部 国際関係学科	亀井 伸孝	フランス語圏西アフリカにおける手話言語とろう者コミュニティの記載的研究
3	10：15～10：30	外国語学部 中国学科	工藤 貴正	戦後台湾民主主義の礎・雷震の京都帝大在籍時の調査研究と著書『中華民国期知識人と大正主義の時代』の完成
4	10：35～10：50	情報科学部 情報科学科	小林 邦和	分人モデルを用いた次世代型ヒューマン—ロボットインタラクションの実現とその応用
10：50～11：00 休憩				
5	11：00～11：15	教育福祉学部 社会福祉学科	田川 佳代子	アクティヴ・シティズンシップと高齢者ソーシャルワーク
6	11：20～11：35	外国語学部 ヨーロッパ学科	竹中 克行	持続的景観システムの可視化と普及メディアの開発—地理学から計画論への橋渡しの試み
7	11：40～11：55	情報科学部 情報科学科	田坂 浩二	多重ゼータ値とモジュラー形式の研究

《パネル発表》

情報科学部 情報科学科	伊藤 正英	劣駆動システムのホロノミーに基づく運動制御手法の確立
看護学部 看護学科	岡本 和士	介護職者の離職防止を目的とした職務継続支援ガイドライン作成のための基礎疫学的研究
外国語学部 国際関係学科	亀井 伸孝	「人種」と「人種主義」をめぐる博物館展示の動向：フランスの人類博物館とアメリカ人類学会の展示会の事例
日本文化学部 歴史文化学科	川畑 博昭	地域的特性から照らすスペイン君主制の象徴・国民統合機能の実相に関する比較憲法研究
日本文化学部 国語国文学科	久保 愛	方言史研究 —愛知県と南九州のフィールドワークと文献調査から—
看護学部 看護学科	黒川 景	日本におけるBuruli潰瘍の感染源の探索：身近に生息するカメ類の調査を軸として
外国語学部 国際関係学科	高阪 香津美	ポルトガル語教育の現状と課題解決に向けた取り組み
情報科学部 情報科学科	辻 孝吉	多様なデータの処理と動的な構造変化を伴う大規模システムの系統的解析手法の研究
日本文化学部 国語国文学科	三宅 宏幸	幕末から明治における（虚構）としての「宮本武蔵もの」に係る研究

## 【発表の様子】

司会 梶原克教センター長



久富木原玲学長あいさつ



外国語学部 東弘子教授/宮谷敦美教授



外国語学部 亀井伸孝教授



外国語学部 工藤貴正教授



情報科学部 小林邦和教授



教育福祉学部 田川佳代子教授



外国語学部 竹中克行教授



情報科学部 田坂浩二助教



## 《パネル発表》

